

【開催日時】 令和8年1月20日（火）17時～

【出席者】 学校運営委員10名 事務局員2名

【開催場所】 大麻中学校1年3組（2階） ※4校合同会議・図書室（1階）

## 1. 本年度の教育活動および経過報告

校長より、後期の学校の様子および令和7年度の経過について報告を行いました。

## 2. 学校運営委員会における熟議（学校関係者評価）

令和7年度の自己評価および改善策について、委員より以下の意見が出されました。



① 自己評価の適切さ：学校が行った自己評価および次年度への改善策は、おおむね適切であると判断されました。

② 豊かな心の育成：改善策において「子どもたちが気軽に相談できる関係作り」など、より具体的で心の機微に触れるような取組を強化すべきとの提言がありました。

③ 体力向上と家庭連携：家庭での運動習慣定着には課題があるものの、学校側がネット型・ボール・ダンス等の運動系クラブを充実させ、機会提供に努めている点は評価されました。

④ 大麻スタンダードの浸透：児童への定着は進んでいる一方、保護者や地域住民といった「大人側」へのさらなる周知が今後の課題として示されました。

⑤ 組織運営と働き方改革：業務の精選（スクラップ・アンド・ビルド）について市教委の牽引を期待するとともに、学生ボランティアやサポート教員を効果的に活用している現状を確認しました。

⑥ 小中一貫教育の推進：令和8年度より本校が中学校区の事務局を担うにあたり、大麻中校区全体で一体となった推進体制を構築していくことを共有しました。

⑦ 地域連携への感謝：森の子児童センターをはじめ、地域の多方面から子どもの成長を支えていただいていることへの謝意と、今後も「地域とともにある学校」として連携を継続することを確認しました。



その後、大麻中学校区の小中4校による合同会議を開催し、各校の活動報告やこれまでの協議経過を共有しました。交流を通して、学校の枠を超えて地域全体で児童生徒の現状や課題への理解を深めることができました。